

新型コロナ感染拡大防止集中対策 人出の削減（5/8～6/1）

○ 本日は、県全体での感染状況を踏まえ、5月8日から6月1日までの、「集中対策」の取組における、人出の削減について県民の皆さんへ緊急メッセージをお伝えします。

スライド 2

○ 直近の感染状況です。

○ 直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数は、ステージⅣの目安となる25を超え、28に達しています。また、最も悪化した12月26日の25.6を超え、過去最高値となっています。

○ 1日ごとの新規感染者数も、最も悪化した12月25日の141名を超え、5月8日182名、5月9日195名と、2日続けて、最も深刻な状況を更新しています。

スライド 3

○ 感染状況はステージⅣに相当すると認識しており、この状況だと、罰則を伴う人流抑制などを必要とする緊急事態宣言レベルの危機的状況です。

スライド 4

○ まず、こちらの図は、4月19日に記者会見を行い、県全体をステージⅡに引き上げた際、今後の感染を予測した図です。

○ 他の感染拡大地域を参考に、拡大が始まった場合は、概ね前週比1.8程度で推移すると仮定しました。そのため、「春の検査集中実施」などの感染拡大防止対策を強化しましたが、誠に残念ながら、現状で、ほぼ予測通りに感染が拡大しています。

5月9日には、新規陽性者が過去最高の195名となりました。

○ また、国内でも感染力が非常に強い変異株の感染拡大が続きます。さらに、大型連休中は緊急事態宣言地域からも非常に多くの方が県内に来られて、更なる感染拡大のリスクが高まっています。

スライド 5

○ 先ほどの予測と実際の新規陽性者数のグラフについて、6月上旬まで予測期間を延ばしたのが、グラフになります。

○ 過去3週間と同様に、予想どおり感染が拡大すると、新規感染者数は、5月26日までの週には1日284名、6月2日までの週には1日426名、6月9日までの週には1日639名になります。東京や大阪で1日1,000名を超える日があることから、これは決して非現実的な感染者数ではありません。

○ また、直近1週間の人口10万対の新規感染者数は、5月26日までの週には、神奈川のワーストを超え、6月2日までの週には東京、大阪のワーストを超え、全国でワーストになってしまいます。

スライド 6

○ 対策の効果が出ず、1日あたり400名を超えるようなことがあれば医療への影響が大きくなります。

例えば、

外来閉鎖により、受診が遅れる

予定していた手術の延期など、

県民のみなさまが本来受けられるはずの医療が受けられなくなる可能性があります。

○ こうした事態を避けるために、必要なことは、今すぐに、「広島県全体で人出を削減する」ということです。

スライド 7

○ なぜこんなにも人出を減らしてほしいとお伝えしているかを、こちらのデータでお示しします。

○ 過去の人出と新規感染者の推移です。

○ 県民の皆さんの努力下、緊急事態宣言中の令和2年5月のGWは7割減、年末年始は5割減を達成でき、その後、新規感染者数が減少局面に入りました。

○ 人出を抑えること、つまり接触機会の減少が感染者の減少に効果があったと推測されます。

スライド 8

- 目標は、年末年始に実現できた人出の5割削減です。
- 昨年のGWや年末年始は、人出を抑制して人との接触を減らすために、ご覧のようなことを私達は取り組んでいました。

- 一つ一つは小さいことと感ずるかもしれませんが、誰かがやればよいと思うかもしれません。

- しかし、医療への影響が出始めている今、全員で実行しなければ、感染拡大の抑え込みに大きな効果はないと考えています。それほど厳しい状況です。
- 日常を取り戻すために、一人ひとりができる工夫が無いか見直してみてください。

スライド 9

- 大規模なクラスターが無い状況でもこの土曜日で新規感染者数は182名、翌日の日曜には195名と、過去最高の人数となりました。対策に効果が出ても、すぐに人数が減ることはなくこの先3週間は100人超えるという予測です。
- 加えてクラスターが発生すると、医療現場、保健所の現場が耐えられない状況です。
- そこで、大規模クラスターを未然に防止するため、対策します。

- まず、重症化しやすい高齢者や障害者の方が入所する施設の職員に対して、検査の回数を2週間に1回から1週間に1回に強化します。

スライド 10

- 次に、学校での対策を行います。具体的には、
 - ・ 対策期間中は、高等学校において、原則オンライン授業を実施できるようにする
 - ・ 部活動は、他校との練習は行わない
 - ・ 寮生の帰省などは極力行わない
 - ・ 教職員や外部指導者へのPCR検査を強化するです。

- 生徒の皆さんに我慢をしてもらうことになり、申し訳ありません。

○ ですが、今の危機的状況乗り越えるため、学校関係者、保護者、生徒の皆さんには、何卒、ご理解とご協力をお願いします。

スライド 11

○ 最後に、職場へのクラスター対策として、広島市・福山市全事業所集中実施を行っています。

○ 積極的に受けていただけるよう、キットの配布や回収を行っています。事業所の方には積極的に受検をお願いします。

スライド 12

○ 感染拡大はいろいろな要素があります。

○ その中で、「人出の抑制」だけが、私たち個人の意思と行動でコントロールできることです。

○ 今回の危機的な感染状況から、子供たちの学校生活にも大きな影響を及ぼす苦渋の決断もいたしました。

○ 我々大人たちが、多少不便でも、快適でなくても、自ら行動を制約して抑え込んでいかなければなりません。

○ 効果が出るのは、数週間後です。今、人出を抑制できるかどうかで、本来受けられる医療体制が受けられなくなるといった危機を回避できるのかなど少し先の未来が変わってきます。

○ 早く日常を取り戻せるように、どうか、県民全員で、今できることを実践していただきたい、改めて皆様お一人お一人にお願い申し上げます。